首

喜見三元酒　甲子新開曆　舊事風次去　人間迎歲改
凡光肇此辰　東風為發春　天地春　天上星應回　人心隨歲改
世事逐時新

正朝辟惡酒　松應添歲壽　椒花方獻節　桃符帶草宮
物華長命盃　梅向隔年花　柳眼暗催春　椒酒過花香　圖書一四海
玉帛萬諸侯

壽觴隨柏酒　金虬銜日出　序時推五始　三朝春日一盃酒
時物貴辛盤　鐵騎勒春回　考曆正三元　便吟春日詩　玉燭傳佳節
陽和應此辰

堯庭正講三朝礼　暖日映山調正氣　且斟膽釀頻相暖
漢殿宜称萬壽盃　東風入樹舞殘寒　神州日月宣重曜　莫着春衣尚自寒
潮海風霜破宿陰

朱將柏葉鑑新歲　家人獻壽酤醽酒　茅兒遥對屠蘇酒
且與梅花叙隔年　稚子安貧著浣衣　門戶閑添鬱壘神　椒柏称觴壽慈母
金盞作傾今歲酒　古柳重開今日眼　昨宵總是年光舊　屠蘇傳飲憶難兄
銀缸遥爛去年花　殘梅由帶隔年花　今日俱成景色新　一杂綠雲迎曉日
春色已知回寸草　一歲風光從是始　四時氣候自茲萌　万枝紅燭動春天
霜威從是除松

結句

山川晋雪明双眼
皷角迎春下九天

一脉春陽回造化
萬方民物賴生成

千門万戸曈々日
總把新桃換舊符

自爵梅花氷片々
無人先后飲屠蘇

人心共待三陽至
天意重教萬物新

爭新遊女惜垂髮
依舊先生日照盤

玄鬼工闢巧懸鉞燕
農事催耕出土牛

曉色催詩歸草夏
春風隨筆上桃符

梅帶寒香成隔歳
酒移暖味入新年

閑門賀客相過坊
靜對梅花自看書

鶏既鳴忠臣待旦
鶯未出遺賢在谷

勸客滿淡經鵲蛾
勸農仍出餞寒盃

髮絲那稱金花傍
面纈堪傳柏葉盃

宮花掬開枝々秀
園中堆盤種々新

為客頻占新歳事
思親復起故園情

東風行佛樓臺曉
瑞氣氛氳入地香

滿酌椒觴願長健
坐中莫笑鬢毛斑

西樓月落花間曲
中殿燈殘竹裏音

東郭青幡迎木德
南方辰正表農祥

春生容舎園池好
天與詩翁歳月閑

處々樓臺留暖雪
家々絃管醉春風

陽和忽轉氷霜沢
元旦又如天地初

梅和臘雪凋清艶
花引東風入舊枝

多少人生頭似雪
都曾第一飲屠蘇

東風吹散梅梢雪
一夜挽回天下春

盤妝蔡菜迎春餅
瓶掩梅花帶雪枝

樽中緑酒微温溢
檐下殘梅亂雪飛

正氣繞隨火律変
餘寒已殺柳梅欺

鵲喜橋成處
佳期 記女生

古来傳織女
七夕渡明河

纖巧逐時新
誰將太樵陳

漢江天上水
牛女世間雲

歡期惟一夕
別恨動經年

雲帰天上客
巧贈世間人

映月回鸞扇
凌霞曳綵衣

天上秋期近
人間月影新

鳳津驚秋氣
龍梭靜夜機

鵲辞穿線月
花入曝衣樓

王庭開彩席
羅袖捧金盤

牛女四夕會
鳥鵲此時情

天上風流會
人間富貴齊

庭鋪阮氏錦
腹曬郝生書

枕服銷環珮
香烟拂綺羅

巧就蛛絲送
音憑鵲信傳

停針聞蛛蝶
留巧付蜘蛛

月為開帳燭
雲作渡河橋

佳期牛女會今宵
龍駕銀河水浸橋

七夕星河入萬家
天凡輕轉五雲車

兩情惟恐曙光催

微貪豈鮮津梁
西望天漢耿々光

一葉梧桐暮雨收
絲樓尊迎候牽牛

伯勞東翥燕西飛
又報黄姑織女期

斜月蛛絲上小庭
剖凡揮竹意可嗤

鸞扇斜分鳳帳開
星橋横過鵲飛回

天街爽々素光秋
雲錦機閑漏箭遲

鵲羽駕橋連漢渚
蛛絲結網上瓜華

牛女何為者嫁娶
女何為者嫁娶

牛豈甚然耕穀簸
人心機巧效無厭

由來鳥落銀河畔
底向今宵又乞添

何女金風玉露時
無情莫嫌贈支機石

有分宜來犯斗槎

蛛絲結網金凡細
鵲羽成橋玉露清

輪随皎月磷々動
橋映疎雲隱々高

月魄嬋娟烏繞樹
河流清淺鵲成橋

天孫已度黄姑渚
阿母還來漢帝家

桂樹三更雲漢々
銀河一帶水悠々

男解牽牛女能織
不須傷福渡河星

更有唐家今夕意
月和凡霧滿驪山

天孫正自貪歡笑
那得工夫賜巧絲

神光寂々雲容薄
誰見夜深襟起塵

七夕匆々停手梭
自緣烏鵲合高飛

家々乞巧望秋月
穿尽紅絲幾万條

千古文章柳列柳
鮮裳拙詩惶々

平生慣得濂溪賦
赤用河東乞巧文

牽牛人待雲間月
駕鵲雲迷耿々星

桂樹三更雲漢々

天の川瀬の音聞えて天の川のとわたる舟の
天の川のとわたる舟のかぢの音聞えて
天の川瀬の音聞えて天の川のとわたる舟の
天の川瀬の音聞えて天の川のとわたる舟の
七夕流れ来る水の音
羽根敷の衣の音

撰沙草只之寸許樹蔭繁茂陰陰
きのふこそ年ふるかと思ひしに
春日の山さくら咲けり

貴之

撰沙草只之寸許樹蔭繁茂陰陰

和漢朗詠集巻上

春

立春　早春　春興

春夜　子月　付子月　三月　付桃

暮春　三月盡　閏二月

鶯　霞　雨

梅　付梅　柳

花 付雪花 蹴鞠 陶歎冬 藤

夏

更衣 荀夏 夏和

端午 納涼 晩夏

花橘 蓮 郭公

螢 蟬 扇

秋

立秋 早蟬 七夕

蜩 蟋蟀 晩夏

八月十五夜 付月 九月九日 付菊

九月盡 菊花 萩 紅葉

禮 衣裳 紅葉 付紅葉

鹿 付鹿出
霧 霧
搗衣

冬

初冬 冬夜 歳暮
炮火 霜 雪
氷 付霜 霰 佛名

春

立春

逐吹 踏開 氷結 解 氷 解 氷 解 氷

良春道

元方

貫之

忠岑

早春

元稹

白

春月

野相公

都良香

紀納言

志賀自主

正平

春興

花下長閑春光動　白
野外芳菲桃李開　劉禹錫
秋波一花春光暮　白
山桃後野桃風吹　紀貫之
柳枝岸柳風靡　紀貫之

春野焼紅葉繍　野相公
林中花開錦　里建音
春野焼紅葉繍　菅三品
春野焼紅葉繍　赤人

春夜

宵燭花間情　白

[illegible]

子日　付若菜　朝恒

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

貫之

三月三日付桃花

春来遍見桃花発 不識仙源何処尋 王維

三月三日天晴千花開 二皆

李白

我居一日澤畔行 水雖[illegible]流桃花絶 [illegible]

北野思親人歌 [illegible]

[illegible]小序

[illegible]

菅丞相

菅雅規

菅豊成

紀納言

桃花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

暮春

柳花

柳花ハ雪ニ似テ春ノ暮ニ
風ニ乱レテ野馬ノ塵ニ似タリ
人ニ逢フ時頃ハ年ニ
劉白ハ歌今日好酒ノ
春ノ酒ハ
つくつくとよもすがら月のみてこそすごしけれ

源順

三月尽

白居易

白居易ハ
秋風ニ
白ク
白タリ

菅丞相

菅

曾敬

躬恒

貫之

貫之

同三月

今年園生春三月朔日人倉院二月色

陸侍郎

陪殿欲賞文人亭前花

源順

禪林寺僧都

花咲時春雨降

伊勢

鶯鳴時忠岳行賞

朝觀

雖春雨降

桜花

雖春雨降

桜花

桜花

桜花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さをしかのこえのうちにあきのよのつきをみるかな　人丸

ながらのやまにたちこめてはるかすみ　赤人

ふるのつきをみるかな　兼盛

雨

或雨花下濡僧衣時　都在中

舞袖翻回暗動風　白居易

長樂遠聲花外度　李嬌

春雲深処雨来空　雜樂

花新雨初晴園鳥啼時春雨　菅三帝

斜照照風光扇霽晴初明水晴　保胤

ふるとはなしにあやめぬきかな　讀人しらず

わらやきのえふのうらまつ　伊勢

いりそのけふたまりそみる

梅　付花

白雪梅浮洞水春柳出墻　白居易

梅花第十[illegible]和歌入酒中　十一　章孝標

浙[illegible]蘭[illegible]彩封[illegible]

青[illegible]深[illegible]酒[illegible]梅[illegible]　後江相公

[illegible]春[illegible]梅[illegible]　村上御製

雖[illegible]春[illegible]集[illegible]梅花[illegible]

いろ[illegible]　安倍廣庭

わ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花山院

柳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大夏寺に梅の早咲を惜て

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わすやきのまもよしをわりてをの月は
まつらうらうもろまさるろろ　舞鶴

花

花明上花枝枯野張水陌うら黄楊　長講

川辺山斜月篠子数うら竹

岩間清泉流水花光焔〻火燒

冬夏人家花咲人家鶯鳴親深

登月高低子顆百鳥〻玉　菅三郎

深枝波浪数裏一入春入〻

淮渭水無心清濁別可波蓮　同上

淮渭花之稚樹和深影新鶯

歌渭〻水則濁女裾移〻流清　頂分

言渭〻七三蜀人濁文〻孫業煙

織月の絲淮蜀織雲三長三長　源氏明

花花曲錦戎濁織〻毛風雲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

躑躅

朝菜の間紅躑躅秋房の白き

夜越へ来る色を抱き合ひ紫の

おもひいつるとき君とのやまの雲つし

いとしのいしそあまとひしきものと　平貞文

歌合

改着嶺黄天高雲歌堂清滝

書つ天雲を相扶拾張紙常木の葉　保胤

菊

懸望恋慕二月春花春の雨

紫蘭偏奇生長花光言葉　順

さ数の底深む色仙宮書色　源相規

そこのうちのうちとふかのうちのうちと　人丸

かくしてゆむとの毎夕

かくしてすくうとうとうひ川うち新みとうの　原見王

いまやとうん山ちのとふ

ウやとのやへひの屋うるさ一えうう

ちうのうるむうるれうるれうる見う　斎盛

をきうらうらのあさてうあやなく　貫之
ふくまつうらのさらしちうか

夏

更衣

岩ねはしたる谷川の水の音
生ぬ歌ゆゑ　若宮
ちはやふる　ちはやふる　ちはやふる
ちはやふる　ちはやふる　ちはやふる　

[illegible]

端午

有河内国[illegible]

[illegible]

きのふよりてうそうにさいしゐやめくさ

[illegible]

納涼

青青地上清秋雨晚涼自[illegible]

[illegible]

不見移房蕙[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

池水に蛙鳴くなり夏の夜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明くれば在原遍昭
の消息横雲
山縣春雨霧
霞海賤軍船
[illegible]
[illegible]
[illegible]

扇

盛夏六月雪降年寒風

妹生ヲ裏花度ヲ惜ム

不朝来海初ヲ惟数村風ヲ

わまの川かくべきたるかたこと　中務

わすれぬるのうせとあやまりて　中務

わすれぬるのうせとあやまりて　兵部卿

そらもとをとこのうせ

えのうもよまれしろわすれぬ　中務

あしひきのやまのうせ

秋

立秋

蘭風涼風白露雁来雁一時秋　自十七

鶏頭花間秋深ル露晩ク蟬　深草

わくらはのいとやうふかくなりぬ　敏行

うたつけよりのそこのきこのふちる　能宣

わきのうしあそこのふちる

早秋

但書者為三條不知秋之三点家
櫻花雨間新秋地相繁風源欲知
長京剪殘高堂晚涼初覺見
わすらるゝいとゝくもとあはしこのあるう
ちうきをのうをはたとゝきしもしも　安長卿

七夕

清涼殿年毎ニ七夕ニ和歌ヲ
二星逢夜未剪燭流涙恨　野長代

夜深将明頻驚源風吹之音
寄雲別風妹恋情　菅
玉衣流涙物侵月欲明　菅相公
河花開沈雲月欲明　菅輔昭
風涼邸長夢孤朝源家　後江相公
わすれはてゝとをきもとゝわすれ
ふるとのあるかいとゝまくまくと　人丸
ひとゝをとれもとゝふかくこの
わひとんわるひとゝをとれもとゝふかくこの
わひとんわるひとゝをとれもとゝふかくこの　世人之

わすれにしあふさかのせきもりのうたをそもとりかへる　[illegible]

秋興

林間燈燭紅葉石頭寺禪師法言

楚思時花色清晚管絃秋

大底西風起吉祥中陽日長秋天　白

物色自悲傷宮商時變字徘徊山　野州公

東籬菊黃玉樹西風白雲　田達音

第一傷客心故園秋月明　[illegible]

蜀葵漸長浮花蝶豐深彩傳書色　江相公

うつろひいたるもの[illegible]

[illegible]

わさいなどゆふさりうつろひ　[illegible]

ゆきのうつりかはるとしの　[illegible]

秋晚　義光少將

相思[illegible]

[illegible]

とらやまのうへのくもゐのかすみゆゑ　上野さくら　久之

秋和

妹夜長ミ無聽天の川　白名

独燈の雲新蛍聽ル　名

年深海初長和村星の鈴聽ル　白

蟬の子橋中長月和歌二人長　白　野相公

蓮葉の露源人今宵月の雨

蓮葉の露裏紅蓮柳葉の露

わ川の山とりのたれかそこつ鳥の

なかしきしもまさけくもひとりも行む　人尾

いつはわさのなかうちのうちは　岩位

八月十五和　付月

奈白之一子領里濃ふ氷浦　義雄

漢和之三十六池ふ影傍　小

織孫機中ニ雑綱思ふ子搖　同

衣笠に鹿鳴て聲々
三夕夜半新月遠
雲山重重雲水重重
十二日半世界秋
外者事於者家
鶴渡金沒三秋月
自然何業
岸に立て遠松の緑濃
瑞池の芙蓉の色清
金青一滴秋風
楊貴妃帰唐帝
ものおもふ月のうそぶき
こゝろひそかにかなしけり

月

誰人隣家の人

秋水漲来船を遠和歌浦に収る月の景 郢展

不解愁中事蘆間山月西 自

天山嶺の年号合浦の蘆間の孫 三統理平

欲和歌浦の蘆間の吉野の蘆間の孫 前中書王

御山源の数の袋密抜一出 保胤

あらしのうちうちうけられはかをとるなり 仲補

みさけ山うちくしの月うち

ちうちうちうちうちうちうち

うとうとうとうとうとうとうとうとの秋の月 躬恒

よしあきはものおもはるるけさ大

月よいつくしひかりそうつ 後中書王

九日 付菊

鶯の和社員の袋集の菊の色陽の昌の雨の間 自前書

撰の事に於漢武の赤道撰の文元 紙納言

為の義の花の歌の袋の徳 同

先の文の吹の風の暁の星の物の漢 同

月の光の陽の昌の歌の袋の月の門 同

昔水流花以下流白滝上壽寿二年 同
修学地脇和歌浦金屏白滝名 年一
新古今百首家
わらやとのくのたちはのこずとも
いく代つもりてみちのくなるらん 元勢
菊
霜葉黄蘆二分白露為新花一半衰
不見花中偏愛菊開後更無芳
閑居秋暮 紀納言
手植松桐枝後澗秋来
鄰縣村間活澗家酒熟兒子不要去
蘭花自繁乃偏愛 保輔二
業為業所推志 管三昌
古今あくるよわたくやはんとうこと 躬恒
ひさかたのあまのかはらのこまとめて
あやまちをしたるかな 敦行

九月盡

[illegible]清為[illegible]園[illegible]蘭[illegible]衛

[illegible]人[illegible]貴[illegible]追[illegible]仏[illegible]寒[illegible]風[illegible]

頭[illegible]清[illegible]輝[illegible]秋[illegible]色[illegible]

[illegible]菜[illegible]田[illegible]毎[illegible]色

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋のかぜふくなるはぎのうへにおくつゆをたまとみるかな　人丸

わすれぬるかりをはなにたとへてもおもかげにのみたちかくるかな　伊勢物

ちるはなをうらやましとやおもふらんかりをしのぶるあきのつゆかな　元輔

蘭

前頭弓丈有蘭花　花白

枝葉皆如新挙手　前中書王

紫蘭不宜早秋風　吹而先零

凝如漢女新施粉　滿似殺人眼注脂

出籠皆宜秋綫繁　文似蠶蛾初繭

直軒

ゆふつゆのたまかとみるはなのうへにあきのかぜふくなるはぎ

素性

樣

杜樹丈年餘花樣花一日自爲榮

蕚白不爲雖獨有　掛巻寒枝

前中書王

白不爲雖獨有　掛巻寒枝

三十

[illegible]

道信

[illegible]

前載

[illegible]

自黄門拜家傳[illegible]春樹[illegible]秋[illegible]

同方

[illegible]

保胤

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

躬恒

[illegible]

紅葉　付[illegible]

不[illegible]紅葉[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

貫之

[illegible]

正

落葉

三秋百草萎長空澄面清月華

秋賦

冥冥帝鄉何處是落葉空山路

秋庭落葉掃苔痕相思夢裏白雲

城柳宮桃漫撩亂蟬聲如哭人

[illegible]

白

[illegible]

[illegible]

順

胡省上數片紅葉飛

[illegible]

高相加

[illegible]

[illegible]

後中書王

順

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仲まさしくなれるふるとなりもこ
ろのくるるよりあとにもなくてたち
りみちはるのかすみやまもこ
りみちはるのかすみやまもこ　同

雁　付歸雁

万里人間三春雁出雲知何處　白
月落天池同歸一

寄陽江亟湖流雲秋聲万里　劉禹錫
四海山樓夏雲三秋万里雲　二首荀鶴

雲ちる雁面ゆきたれ拖糸上陸月空　後江相公
奔雲の易来ては成渓おとづれ水玉
鴈花の雲に書ス青紙筆ラ霜林彼岸ニ
碧雲の筆斜ニ引テ青雲紙数行書　後中書王　巻三品
雲の雲に霜の鴈中鶴に橋蘭湖浪上舟
わきうちかうろくそきこゆうろ　斎
をかたうとうけきうん

雁

山陽道石鎚峯の彩雲

くろかつとるんこうつとるんそくめり　ゆうり　伊勢

はるゝきさらにもやゝくるゝ

仏

切なる時ゝ下嘆くゝ涙の袖に

思婦人面和歌人耳

霜ちる秋は法思ふ風枝をもる松

京極殿腫物養ふ間

山陽西海鳴自鳴鐘

新勾風や織枝を　直幹

新勾鶴底此月色　順

いまはこんとさそわるゝ

わしゝよつまつ　秋はれを

きらゝをいるゝ　おう寄れひいるゝ

庭

芙蓉洛陽僧帰りる紅葉を軒に

晴生食平身変変雲かゝる清風

みちをあとたのやまふをしるべ　能宣

ときあきぬやはれをちる春

ゆつるよをとるの山はあるしうを　貫之

ふるのうちやあらはらるん

霧

のぼる月初こゑ霧似玉珠落白

霧高素秋色風倒松聲雜琴　源英明

ひとりすみあさぢふの宿

たまくらをとはけるさ霧　家持

雨

竹雨晴荒園月春日

雖疎夕雨過枕邊出馬鈴　後江相公

そらさえんのふるさとあれくるあさつゆ

ひかのやまをとをとをとをとをとん　斎宮

時雨

月九月正長秋夜聲百年一時白

北斗星前横招月樹上樹裏衣　劉元叔

樹や文晴杜園月沙義秋の寒中宅　菅篤茂

[illegible]

年前田[illegible]

[illegible]

冬

初冬

十月[illegible]天気[illegible]

四月[illegible]三分減[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

冬和

一[illegible]

年光自[illegible]

[illegible]

貫之

歳暮

寒深き月清き夜の霜の上に
風も長閑の歳の暮かな

長春道列

[illegible]

貫之

炮火

黄昏の[illegible]

看花

[illegible]

[illegible]

霜

三秋の雲の花の白き夜の林の紅葉[illegible]

温庭筠

[illegible]

圍寒窓驚孤枕
源感動先侵四時
君子夜深ゆ不寝
聲々断雲鶴歩
最積処清雪
和とさしくくれ
ひとあ

雪

曉入深山
也度々横月明千里
沼沙漠三界
雪以鶴元
雪風吹如
鶴行殘
迎仙
村上御製

菅相公

菅三品

紀納言

紀納言

紀納言

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

氷 付霜

[illegible]

[illegible]

春氷

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲

鹿の牙米粉にて脱て頭抜顆を
ちやもちにわきもちやもちの分
まさにのうさぎ

仏名

番火一鶴焼一蓋白須和礼名香
番自禅仏前火花開合堂に不開
わくそまのとしをもとくれはつるもを
はるをのうぐいすのうた

蕪城

わくのうぐいすはるをしらせて
わきもつゆさとたちうめの花
かくるをはやみをわくつゆを
とうをしるふつるうぐいす

蕪城

和漢朗詠集巻上 終